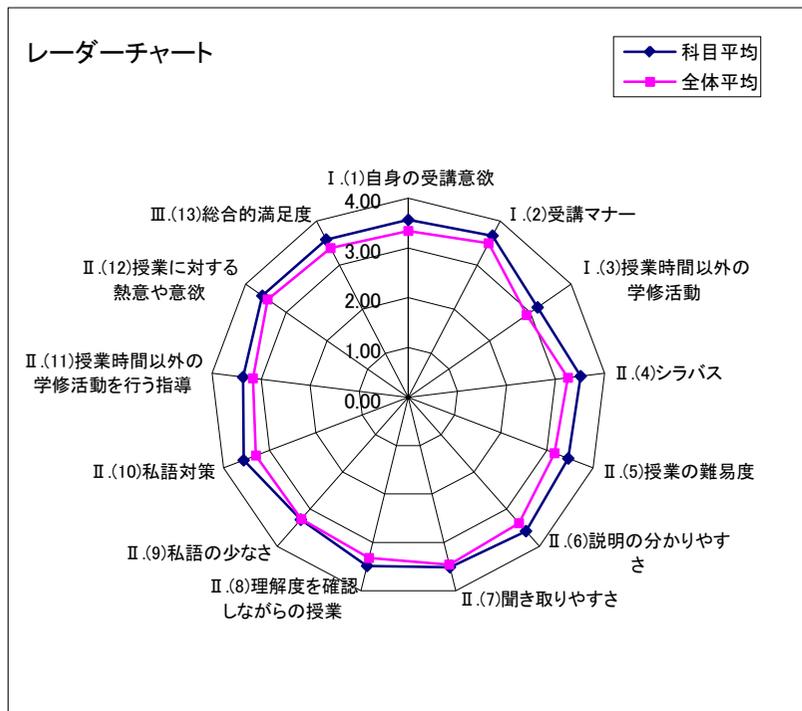
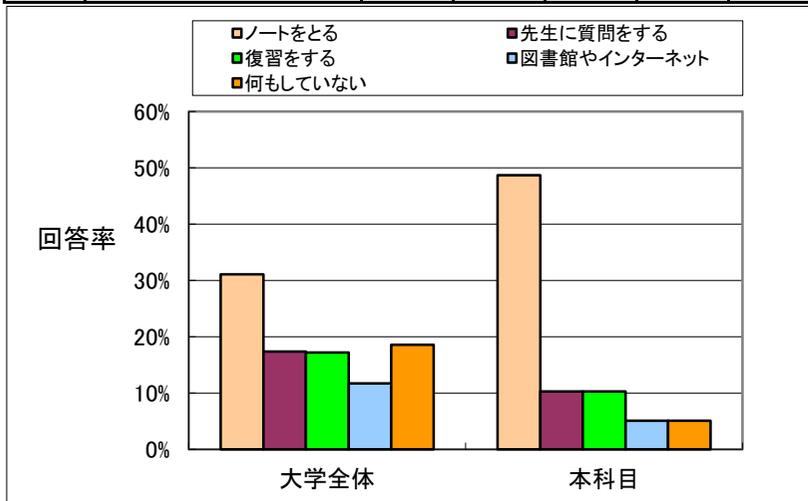


講義科目 授業アンケート結果



※レーダーチャートの平均は4段階評価 4(そう思う)、3(ややそう思う)、2(あまりそう思わない)、1(そう思わない)

〈※複数選択可項目〉	ノートをとる	先生に質問する	復習をする	図書館やインターネット	何もしていない
IV.(14) 授業を理解するための工夫	48.7	10.3	10.3	5.1	5.1



	設問No.	科目平均	全体平均
自身の受講姿勢	I.(1)	3.56	3.34
	I.(2)	3.67	3.49
	I.(3)	3.18	2.91
講義内容・方法	II.(4)	3.51	3.26
	II.(5)	3.46	3.16
	II.(6)	3.59	3.38
	II.(7)	3.51	3.46
	II.(8)	3.49	3.32
	II.(9)	3.28	3.27
	II.(10)	3.56	3.30
	II.(11)	3.37	3.17
	II.(12)	3.59	3.46
	総合評価	III.(13)	3.58

	本科目平均	全体平均
自身の受講姿勢 I.(1)~(3)	3.47	3.25
講義内容・方法 II.(4)~(12)	3.49	3.31
総合評価 III.(13)	3.58	3.39

アンケート結果に対する教員のフィードバックシート

授業年度	2012年度 後期
時間割番号	1357
科目名	ITビジネス論
教員名	

①授業計画の達成度について

ほぼ予定どおり進めることができたが、学生が興味を示した一部の内容について、より深く掘り下げたため、最後の方に予定していた内容が時間切れとなり講義できなかった。もちろんシラバスどおりに展開する方法もあったが、学生の興味に応じて臨機応変に対応するのも必要かと考え、あえてそのように展開した。
10%程度のブレであり、ギリギリ許容範囲かと思う。
ビジネス学部の学生も聴講に来ていたが、できるだけわかりやすい講義を心がけたので、妥当な難易度であったと思う。

②授業の進め方について

毎回の講義内容に応じたビデオ映像を用意しておき、プリントの配布、PowerPointスライド提示による講義、ビデオ視聴、捕捉説明、ビデオ視聴の感想文や質問事項を書いて提出、次の先頭で主な質問に対する解答、というサイクルを取り入れた。これにより、わずかな時間ではあるが、双方向性の講義が実現でき、学生の積極的な取り組みを促したと思う。
授業環境としては、どうしても留学生が固まって一群となって座るため、つい私語が飛び交いがちである。そのたびに注意をしたが、それが授業の流れを停滞されるので、座席指定をした方がよかったかもしれない。
ただ言語の問題があり、もし私の言葉がわからない時、隣の留学生の友達と会話して補足できるという効果もあり、難しいところである。

③アンケート全体を通しての自己評価、及び、今後の授業改善計画について

上に書いたサイクルを取り入れた方法は今年初めて実施したが、予想以上に効果があったと思う。
公開授業を参観に来られた方からも高い評価をいただいたし、全アンケート項目において平均よりも高得点であった。
今後は、座席指定のメリット・デメリットを試行錯誤しながら解決していきたい。